

コメント

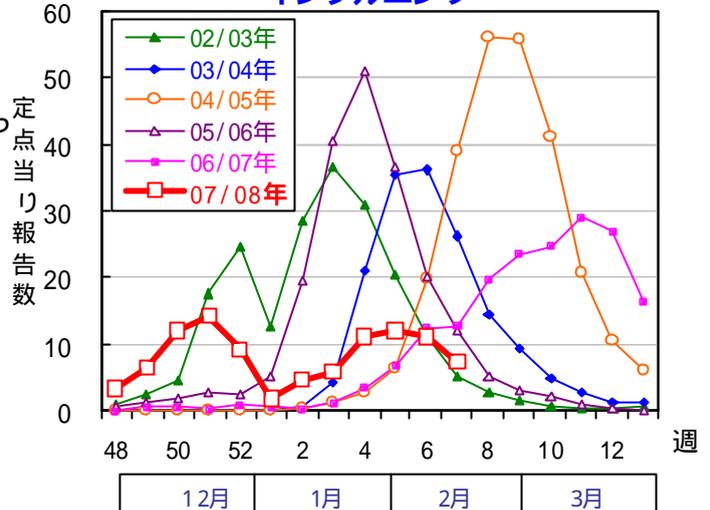
1. 感染性胃腸炎

定点当り12.4人とやや減少していますが多い状態は継続しています。安芸区24.5人と特に多く、安佐北区15.7人、東区15.3人、中区13.7人、西区12.7人、佐伯区12.3人となっています。

2. インフルエンザ

第4週から第6週にかけて注意報レベル(定点当り10.0人)を超えていましたが、第7週は定点当り7.27人と減少し、注意報レベルを下回りました。安芸区18.0人、安佐北区10.6人と注意報レベルを超えています。第5週から第7週にかけての年齢階層別構成比(5歳間隔)の推移は、例年と比べて高い割合を占めていた5歳～9歳の年齢層が47% 43% 37%と低下したのに対して、10歳～14歳が13% 16% 19%、20歳以上が13% 16% 23%と上昇しています。

インフルエンザ



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	269	7.27	19.01	▲	ヘルパンギーナ	-	-	0.04	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.33		流行性耳下腺炎	5	0.21	1.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.50	1.85	▶	RSウイルス感染症	3	0.13	0.23	
感染性胃腸炎	298	12.42	11.66	▶	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	31	1.29	2.11	▶	流行性角結膜炎	6	0.75	0.73	
手足口病	14	0.58	0.08	▶	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.23		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	12	0.50	0.62		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.20	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	▶	◀	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	◀	▶	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は4年間)の同時期平均(定点当り)
 (注2)鳥インフルエンザを除く
 (注3)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	5	27	男性(40歳代)1人、男性(60歳代)2人、男性(80歳代)1人、女性(90歳代)1人
5	アメーバ赤痢	1	3	男性(40歳代)
5	風しん	1	2	男性(10歳未満)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

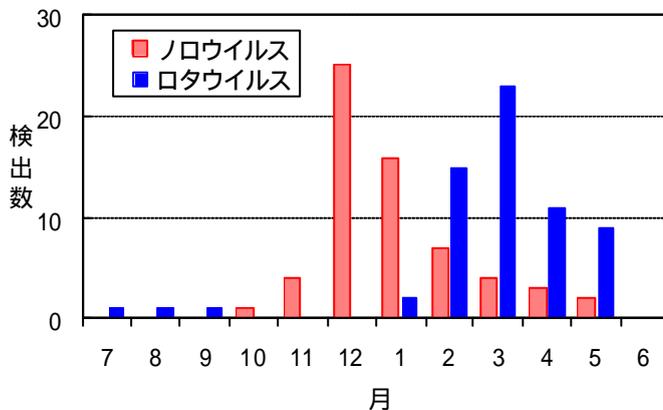
報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
			(注1)																		(注2)
報告数	広島市	第3週	223	4	29	278	31	19	8	19	1	-	3	21	-	3	-	-	-	1	-
		第4週	407	13	28	350	52	27	5	11	1	-	-	8	-	5	-	-	-	4	-
		第5週	444	6	39	437	37	12	2	11	-	-	1	9	-	4	-	-	-	5	-
		第6週	413	13	38	380	40	18	2	15	1	-	3	8	1	8	-	-	-	6	-
定点当り	広島市	第3週	6.03	0.17	1.21	11.58	1.29	0.79	0.33	0.79	0.04	-	0.13	0.88	-	0.38	-	-	-	0.14	-
		第4週	11.00	0.54	1.17	14.58	2.17	1.13	0.21	0.46	0.04	-	-	0.33	-	0.63	-	-	-	0.57	-
		第5週	12.00	0.25	1.63	18.21	1.54	0.50	0.08	0.46	-	-	0.04	0.38	-	0.50	-	-	-	0.71	-
		第6週	11.16	0.54	1.58	15.83	1.67	0.75	0.08	0.63	0.04	-	0.13	0.33	0.13	1.00	-	-	-	0.86	-
全国	第5週	17.62	0.22	2.02	9.20	1.39	0.17	0.17	0.57	0.01	0.03	0.27	0.46	0.02	0.62	0.02	-	-	0.42	0.03	
	第6週	14.98	0.21	2.06	9.23	1.83	0.18	0.14	0.57	0.02	0.03	0.23	0.37	0.03	0.60	0.02	0.02	0.44	0.02		

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	2	女	2008/01/04	結膜擦過物	アデノウイルス3型
感染性胃腸炎	2	男	2008/01/08	糞便	ノロウイルスG2群
腸重積	1	女	2008/01/14	糞便	ノロウイルスG2群
腸重積	1	女	2008/01/14	糞便	アデノウイルス5型

【参考】広島市におけるノロウイルスとロタウイルスの月別検出数 (1999/00年～2005/06年)



冬季はウイルス性の感染性胃腸炎が多くなります。例年12月から1月ごろにかけては、ノロウイルスによる胃腸炎が多いですが、2月ごろからロタウイルスによる胃腸炎が増えてきます。

ロタウイルスによる胃腸炎は、ノロウイルスに比べると、患者の年齢層がやや低く(6か月～2歳ぐらいの乳幼児に多い)、症状が少し重い傾向にあるといわれています。

お知らせ

平成18年の結核・感染症発生動向調査事業報告書をホームページに掲載しました。

URL http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/kan_center/doko/doko_rep.htm

お問合せ：広島市社会局保健医療課 保健予防・指導係 電話 082-504-2622

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2008年第7週 (2月11日～2月17日)